

加工用バレイショ栽培における 適正施肥と土壌改良による 収量と品質の向上

北海道のバレイショ栽培における、より最適な施肥技術を総合的に検討するとともに、堆肥や酸性矯正資材などを用いた土壌改良が収量や品質に及ぼす影響を明らかにする

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine & Calbee Potato Inc.

2020年

3/4(水)

14:00~17:00

帯広畜産大学
講堂

(帯広市稲田町西2線11番地)

入場無料

(事前申し込み不要)

問い合わせ先

帯広畜産大学研究支援課研究企画係

TEL 0155(49)5342 FAX 0155(49)5289

大学および構内地図 <http://www.obihiro.ac.jp/facility/map-index.html>

あいさつ 国立大学法人帯広畜産大学

理事・副学長 井上 昇

カルビーポテト株式会社

代表取締役社長 中村 一浩

発表内容

1. バレイショ栽培における適正施肥と土壌改良に向けて

国立大学法人帯広畜産大学 教授 谷 昌幸

2. バレイショ栽培における窒素・マグネシウム施肥のバランス

国立大学法人帯広畜産大学 助教 木下林太郎

3. 2019年度産トヨシロとポロシリの収量と品質の比較

カルビーポテト株式会社 課長 住ノ江 努